

2011年10月18日

自主的避難に関する意見（抜粋）

下記の意見は、福島老朽原発を考える会（フクロウの会）、国際環境 NGO FoE Japan（エフ・オー・イー・ジャパン）の呼びかけで、9月30日から、10月16日までに寄せられた意見（185名分）からの抜粋です。原子力損害賠償紛争審査会、東京電力には、すべての意見を提出しました。

どうか私達「自主避難者」と呼ばれる者が、断腸の思いで選んだやり方を、愛する人達を守る正当な方法であることを理解して下さい。

私達家族3人は、本年8月11日に長年住み慣れた郡山市を離れました。
私は長年勤めた会社を退職し、家内は生まれてから30数年間住み慣れた土地をあとに、息子は、何が何だからからないまま、大好きな幼稚園のお友達や先生と離れ離れになる選択でした。
家内は現在、妊娠6カ月になります。
私達は、福島第1原子力発電所の事故がなければ、福島を離れることはありませんでした。
人それぞれ、愛する人達を守る方法にやり方はあると思います。
どうか私達「自主避難者」と呼ばれる者が、断腸の思いで選んだやり方を、愛する人達を守る正当な方法であることを理解して下さい。

親としては、子どもを汚染されていない土地へ・・・と思ったけれど、補償もない中、遠くに行くと父親が会いにくる交通費がどうしてもだせない。結局、すぐに避難させなかった自分・遠くへ避難させる財力がない自分を責めながら、関東の親戚宅に避難しました。

現在、生活のために夫を残し、自主避難しています。
息子は、爆発後、国や県アドバイザー山下氏から「大丈夫大丈夫」と言われ被爆し、過去2回しか出したことがない鼻血を爆発後11回だしています。

もちろん親としては、子どもを汚染されていない土地へ・・・と思ったけれど、補償もない中、遠くに行くと父親が会いにくる交通費がどうしてもだせない。
結局、すぐに避難させなかった自分・遠くへ避難させる財力がない自分を責めながら、関東の親戚宅に避難しました。

しかし、間借り生活には限界があります。
子どもが友達と遊ぶスペースもなければ、経済的に不安があり、習い事もさせてあげられません。
働くにも、低学年の息子の長期休暇を考えると条件があう仕事がありません。
でも、避難する場所があるだけ幸せだと思えるように努力しています。
福島中を通りには、いることに不安があっても避難できない人がたくさんいます。

将来的に病気が表れてからでは遅すぎます。そこで、私は自主避難という選択をしました。

自宅前の道路は、自費で購入したガイガーカウンターで、2マイクロシーベルト/時でした。2011年8月時点で、妊娠中で、健康面では大変不安です。

事故前は一年間の許容放射能が1ミリシーベルトだったのに、現在は20ミリシーベルトとされているのも、納得・理解できません。

放射能管理区域程度の放射能がある場所で、生活・子育てができるでしょうか？
将来的に病気が表れてからでは遅すぎます。そこで、私は自主避難という選択をしました。

福島県内への自主避難者には、全く補償がない状態です。
家計は大変苦しいですが、健康にはかえられない、とふんばっています。

小さな山を一つ越えると、避難区域です。そんな場所に小さい子供を住ませることはできません。
親として子供を守るのは当然です。

私は、5月から3歳の娘(二人)と自主避難しております。小さな山を一つ越えると、避難区域です。そんな場所に小さい子供を住ませることはできません。親として子供を守るのは当然です。

避難したくて、避難しているわけではありません。どれほど悩んで避難したか。また災害が起こる可能性、何かあった時子どもを守れるかどうかなど、本当に悩みぬき避難しました。
それを日にちでくぐられてしまったら、私たちの苦労はなんでしょうか？

大好きな福島をなぜ離れなくてはいけないか。
経済的にも、2重生活。住宅ローンもあります。
先月の食費は、1万円。電気代＝1800円、水道＝3000円

放射性物質が子どもにもたらす影響を考えて親がより安全なところへ避難するのは当然のことでは
ありませんか？

恐怖に耐えてストレスを抱えて暮らすより、安心して暮らせる場所に避難したほうが良いと思うのは間違い
ですか？ 放射能さえなければこんな選択はしなくて済んだのです。私たちはやむを得ず、子どもの将来の
ために避難という選択をしているのです。

自主避難を否定することは、幼い命を摘み取っているのと同じです。逃げたいけれど、張り巡らさ
れた安全キャンペーンにしばられ、こどもにスマナイと自分を責める親の心。逃げたけれど、補償
も未来もみえずに不安な日々。

どうか、避難区域外であるなしにかかわらず、等しく公平に避難された方々の賠償をお願いします。
す。

多くの方が不安にかられ避難しました。また不安の中でその地にとどまり暮らしている方々もおられます。
福島原発事故の収束はまだまだ先行きが見えず、放射能汚染はこれから長きにわたって続きます。多くの
方々がこれからの暮らしへの不安を抱えていることと思います。
どうか、避難区域外であるなしにかかわらず、等しく公平に避難された方々の賠償をお願いします。すこし
でも先行きが見え、未来に希望が持てるようにどうか十分な賠償が行われますようにお願いします。